

十河氏ら試験のコツ伝授

診断士「合格率50%」めざす



コンクリートメンテ協会

対策講座

(一社)コンクリートメンテ
ナンス協会(徳納武使会
長)主催の『2013年度コ
ンクリート診断士試験の傾
向と対策講座』が14日、広島
市中区のRCC文化センタ

で開催され、「受講者の合
格率50%」を合言葉に定員
一杯となる50人が受講。講
師の十河茂幸(広島工業大学
教授)らが合格率を高める記
述式問題の書き方や時間配

分など試験のコツを伝授し
た。

講座は、コンクリート構
造物の補修・補強や維持管
理を担う診断士の役割が重
要性を増す中、合格率15、
18%程度と言われる難関の
コンクリート診断士試験の
合格率アップを目指して開
催されたもの。

冒頭の挨拶では徳納会長
が元々は無縁でありながら
一念発起して受験、一発合
格を果たした自身のエピソード



講師の十河氏

ードを紹介し、「難関と言わ
れる試験だがコツをつかめ
ば難しくないし、本日の講
座を受けられた方については
HPで質問ページを設
け、試験日までサポートす
る。合格率50%を目指して
頑張ろう」と挨拶。同じく合
格者の事務局・峯松昇司氏
は経験談とともに「メイン
講師の十河氏はかつて試験
問題を作られた方で、この
ような講座を広島で受けら
れる機会はなかなかない。
皆さんは凄くラッキーだと
思う」と述べた。

メイン講師を務めた十河
氏は『2013年度コンク
リート診断士試験合格指
南』(日経コンストラクシ
ョン)の著者でもある。十河氏
は択一式問題の重要さや、
多くの受験者にとって壁と

なる記述式問題でやっては
いけない解答例、さらには
採点者の心理などを合格率に
近づかためのポイントを丁寧
に説明。締めには「診断士の資
格を取得する」と意欲も
向上するし「コミュニケーションも
深まる。ぜひ頑張ろうと合
格してほしい」と激励した。

このほか、第1回診断士
試験の合格者で工学博士・
江良和徳氏は「コンクリ
ート診断業務と補修設計の最
新の傾向について」と題し
程度に応じた補修のセオリ
ーを解説。受講者には協会
HP(<http://www.j-cma.jp/>)内の「コンクリート診
断士試験合格広場」にアクセ
スするためのIDとパスワ
ードも配られた。7月21日
の試験日まで、十河氏と江
良氏が質問に回答する。